

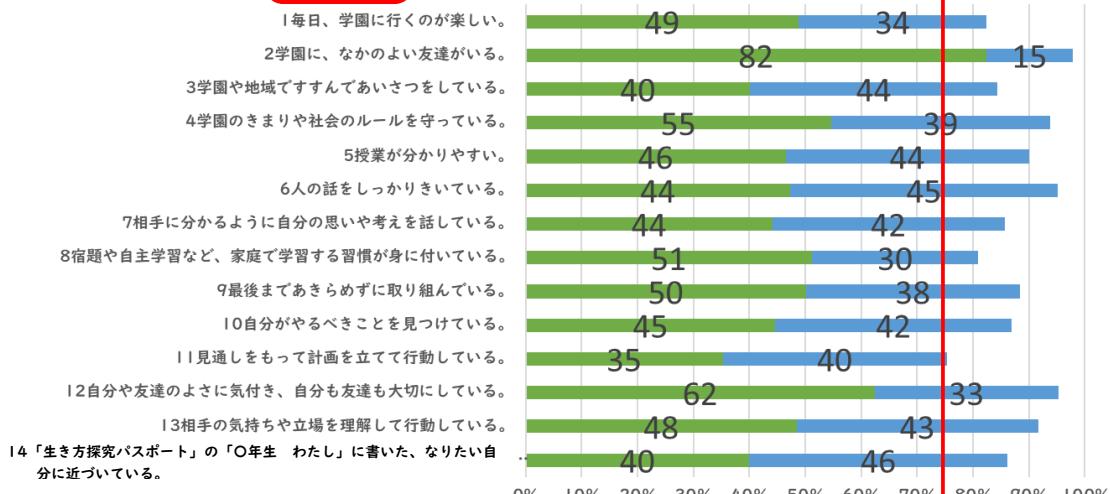
後期学園評価アンケート結果

令和7年
1月実施

学園生

適合度

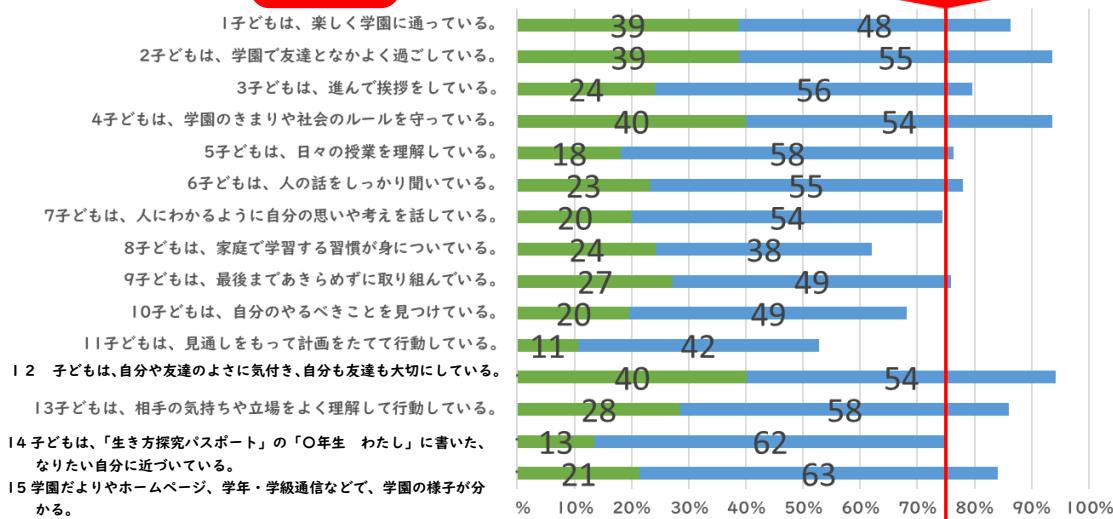
基準ライン



保護者

適合度

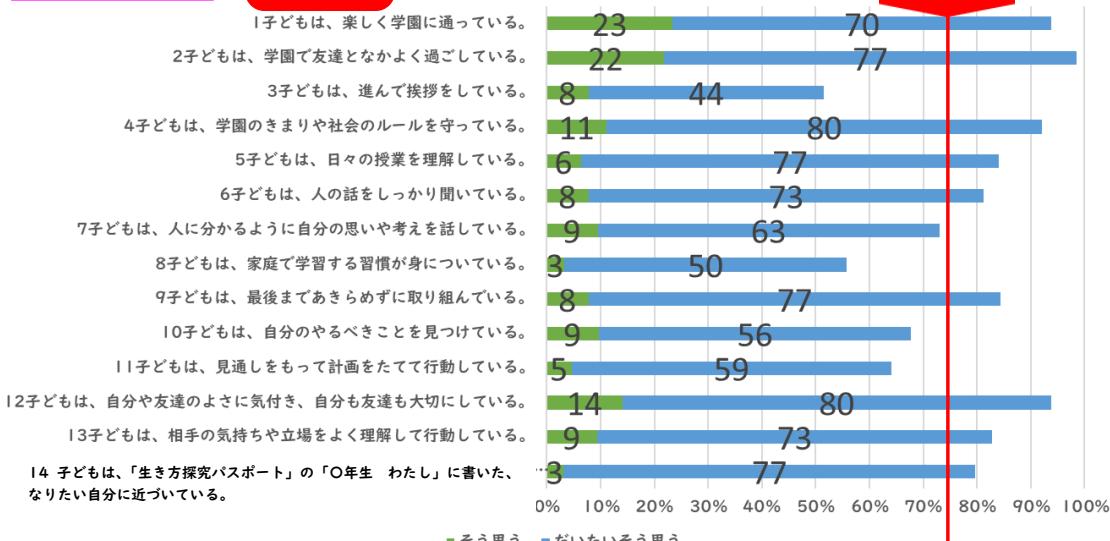
基準ライン



教職員

適合度

基準ライン



お忙しい中アンケートにご協力をいただきありがとうございました。今回の結果から、今後も学園生に付けてほしい力は、「見通しをもって計画し行動する力」である『自己管理能力』だと分かります。また、この力は、「自分で課題を発見し粘り強くむかう力」である『課題対応能力』とも密接な関わりがあると考えます。

今後も、家庭・学校・地域が同じ目標をもって、これらの力を学園生が身に付けて伸ばしていくことができるように、ご理解、ご協力をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

結果の見方について

- 学園生は一人一台配付されているGIGA端末を活用し、アンケートフォームにアクセスして回答しました。保護者の皆様にはお持ちの端末で、回答していただきました。
- 肯定的な回答のみ(横棒グラフの左から「そう思う」「だいたいそう思う」の順)をグラフ化し、75%を達成の基準としています。

結果をもとにした考察

<設問1・2>

学園生・保護者・教職員ともに基準ラインを超えていました。特に設問2は高い数値を示しています。今後も、学校が、多くの学園生にとって友達をはじめとする様々な人とつながる場、楽しく安心して過ごせる場となるようにしていきます。

<設問11>

今年度前期のアンケートで、学園生全体の数値が基準ラインを超えてなかった項目ですが、今回は基準ラインに届きました。ただ、保護者・教職員は、課題があると考えている項目です。「凌風コンパス」や「週予定表」を活用すること、また、各教科等の学習においても、単元のまとまりや学習のゴールを学園生自身が意識して学びを進めていくことを大切にして、取り組んでいますが、今後も、「凌風コンパス」の改良や授業づくりの改善を図り、来年度の取組につなげていきたいと思います。

<全体を通して>

学園生の回答の結果に関して、前期と比較して、肯定的な回答のポイントが上がった項目が大変多くあり、ポイントが下がった項目はありませんでした。

今後も、学園生が主体的に学んだり生活したりしていくことへのサポートをしていきます。